



#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・グローバルリーダー育成塾を対面・遠隔のハイブリッド方式で開催し、参加者が大幅に増加した。(R1年度:983名 → R2年度:1,246名)。
②	・立命館アジア太平洋大学と連携したバーチャル留学「オンライン・グローバル・キャンパス」を開講し、22名の高校生が延べ52名の留学生とともに英語での講義・協議・発表等に参加した。
③	・スタンフォード大学遠隔講座やイングリッシュ・デイ・キャンプ、オンライン・グローバル・キャンパス等において、児童生徒が外国人に郷土や日本についてプレゼンテーションを行う機会を提供した。
④	・小中学校においては「新大分スタンダード」、高等学校においては「県立高等学校授業改善実施要領」に基づく授業改善を推進し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取り組みを進めた。
⑤	・「大分県英語教育改善推進プラン」に基づき、公開授業や各種研修、動画配信による好事例の県下への普及等を行い、英語4技能(特に英語発信力)の強化を図った。

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(2年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①② ③④ ⑤	グローバル人材育成推進事業	105.6	306
②③ ④⑤	おおいたワールドワイド・アカデミー事業	106.2	306
④	学びの接続推進事業	113.8	296

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>OR2年度第12回大分県教育委員会(R2.9)</p> <p>・スタンフォード大学遠隔講座の定員30名に入れなかった生徒に対しても何らかの国際交流機会を提供して欲しい(本提言等を受け、R2年度は、定員30名に入れなかった生徒61名のうち希望者22名に対し、立命館アジア太平洋大学と共同で同時双方向型オンライン遠隔講座「オンライン・グローバル・キャンパス」を提供した)。</p>	
---	--

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンフォード大学遠隔講座、オンライン・グローバル・キャンパス等を通じて、引き続き、児童生徒が日本に居ながらにしてリアル・バーチャル問わず世界とつながる機会の拡大を図る。</li> <li>・グローバルリーダー育成塾の取り組みを高校に展開する「グローバル・ラーニング・ハイスクール」を実施し、世界で活躍できる人材の育成を図る。</li> <li>・英語4技能(聞く・話す・読む・書く)の育成に向けて、英語4技能テストを導入し、指導力の向上を図る。</li> </ul>